

2005年7月31日発行

今回の紙面から（ページと内容）

- 1 会長挨拶
- 2 第23回大会のお知らせ
- 3 理事会・編集委員会より
- 4 大会運営委員会より
- 5 会計報告
- 6 事務局より

会長挨拶

千葉修司

昨年度は、財政立て直しのための打開策としての2本の柱、すなわち、寄付募金案および会費値上げ案を理事会・評議員会・総会でお認めいただき、昨年度後半より今年度にかけて実施することができました。今年度の会費につきましては、現在、会員のみなさまに納入をお願いしているところですが、いっぼう、ご寄付のお願いにつきましては、顧問の先生方、理事・評議員の方々をはじめ、通常会員の方々からも、さっそくに暖かいお申し出をいただき、今年度5月末日の段階で、およそ590万円のご寄付をみなさまよりいただくことができました。おかげさまで、日本英語学会が直面していた財政的危機を何とか乗り越えることができそうです。今後、さらに会費値上げ分の増収も見込まれますので、さらなる発展をめざして学会運営を進めていくことが十分可能となる見通しです。これまでお寄せ下さった会員のみなさまの温かいご支援に心より感謝申し上げます。今後ともご協力・ご支援賜りますようお願い申し上げます。

みなさまの本務校・ご家庭でのお仕事、およびご研究の成果がますます上がりますようお願い申し上げます。

第23回大会のお知らせ

日時：2005年11月12日（土）～13日（日）

場所：九州大学（箱崎地区）

（〒812-8581 福岡市東区箱崎6-10-1）

日本英語学会第23回大会は、大会運営委員会と開催校のご協力とご尽力により、着々と準備が進められています。本大会のスケジュールは以下の通りです。

11月12日（土）

午前：ワークショップ

12:50～13:35：総会

午後：研究発表・シンポジウム

17:50～19:50：懇親会

11月13日（日）

午前：研究発表・シンポジウム

午後：シンポジウム

今年度は、6つのワークショップ、27の研究発表と7つのシンポジウムが予定されています。シンポジウムの内容は以下の通りです。

（ [] 内は司会者、（ ）内は講師と題目）

12日(土)午後

1. Focus Across Grammar [Christopher Tancredi] (Mariko Sugahara (菅原真理子): “Focus and Intonation: An Interaction among Contrastive Focus and Other Grammatical Factors”, Shinichiro Ishihara (石原慎一郎): “On Embedded Foci”, Kayono Shiobara (塩原佳世乃): “Prominence at the Interfaces and its Effects on Linearization”, Christopher Tancredi: “Association with Focus and Discourse Licensing”)

2. 言語の起源・進化について現在(いま)何が言えるか: 脳・進化, 言語, 歴史の視点から [池内正幸] (長谷川寿一: 「言語起源・進化研究の(私的)展望」, 岡ノ谷一夫: 「言語を可能にした前適応」, 藤田耕司: “Design and Function in Language Evolution”, 保坂道雄: 「言語進化と歴史言語学」)

13日(日)午前

3. 心の初期状態における言語機能の領域固有性をめぐって [大津由紀雄] (磯部美和・大津由紀雄: 「心の初期状態における言語機能の領域固有性を認める立場」, 児玉一宏・山梨正明: 「心の初期状態における言語機能の領域固有性を認めない立場」)

13日(日)午後

4. Asymmetries in Phonology: An East-Asian Perspective [Haruo Kubozono (窪菌晴夫)] (Akio Nasu (那須昭夫):

“Asymmetries in Mimetic Phonology”, Jongho Jun: “Perception-based Asymmetries in Place Assimilation and Lenition”, Haruo Kubozono (窪菌晴夫): “Asymmetries in Vowels and Prosodic Structure”, コメンテーター: Reiko Mazuka (馬塚れい子)

5. 普遍文法と言語記述 [中島平三] (稲田俊明: 「英語の特殊な構文と言語機能」, 渡辺明: 「トリビアの泉としての英語学から脱却するために一冠詞をめぐる諸問題」, 松山哲也: 「NPN構文について—N after N 構文を中心に」, 中島平三: 「非対格仮説と言語記述」)

6. 社会記号論からのアプローチ—記号と社会のダイナミックなインターアクション [林 礼子] (菅野盾樹: 「『言語学はいかなる学問 (discipline) なのか』という問いはどこまで正しいか」, 井上京子: 「空間認知と指標性」, 平賀正子: 「ことばの類像性をめぐって: ダイアグラムを中心に」, 林 礼子: 「ディスコースメタファーの構築とそのメカニズム」)

7. 英文解釈を支える英語学的知見 [安井泉] (瀬戸賢一: 「多義語の記述: 理論と実際」, 八木克正: 「英語理解と発信の道具としての辞書と文法」, 安井 泉: 「出来事のとりえ方とその統語的反映」)

なお、本大会の詳しい内容につきましては、9月にお送りする「大会資料・プログラム」をご覧ください。

◇ 大会当日の受付について

大会当日は受付にて大会参加費(2000円)

を戴き *Conference Handbook* と名札をお渡し
します。名札をつけていない方は入室できま
せんのでご注意ください。また、12 日（土）の
受付は 12 時より始めますのでお早めにお出か
け下さい。

◇ 総会について

12 日（土）の 12:50 より 13:35 まで総会を
開催します。総会では、会長の挨拶、開催校
代表のご挨拶、大会運営委員会、編集委員会、
事務局からの報告などがあります。会員の皆
様の積極的な参加をお待ちしております。

◇ 懇親会について

12 日（土）午後 17:50 より 19:50 まで、
福岡リーセントホテルにおいて会員懇親会
（会費 4000 円（学生 3000 円））を催します。
多数ご参加下さい。

◇ 証明書等の発行について

全国大会出席のため、所属機関に提出する
証明書等が必要な方は、返信用封筒を同封の
上、下記までご請求下さい。書式が定まって
いる場合には証明印以外の部分を記入したも
のをお送り戴ければ幸いです。

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南 2-44-5

桐原書店内

日本英語学会事務局

◇ 学内食堂の利用時間

学内の食堂は 12 日（土）は 8:30 から
13:30 まで、13 日（日）は 11:30 から
14:00 までご利用になれます。ただし、13 日
（日）の食堂は会場となる建物から少し離れ
たところ（徒歩 5、6 分）になりますので、
ご注意ください。

理事会より

○ 会計

2004 年度収支決算書（案）および 200
5 年度予算計画書（案）について財務係より説
明があり、審議の結果、承認されました。

○ 役員の異動

評議員（退任）

本年 3 月末日をもって以下の評議員の方々
がご退任になりました。長い間、当学会にご支
援を賜りまして誠にありがとうございました。

池上嘉彦氏（昭和女子大学）、池谷彰氏、石黒
昭博氏（同志社大学）、今井邦彦氏（学習院大学）、
大島新氏（関西外国語大学）、大泉昭夫氏（安
田女子大学）、大沼雅彦氏（英知大学）、梶田優
氏（上智大学名誉教授）、桑原輝男氏（石巻専
修大学）、斉藤武生氏（神田外語大学）、中村
順良氏、長原幸雄氏（東京学芸大学）、成田義
光氏（大阪大学名誉教授）、長谷川欣佑氏（独
協大学）、山本和之氏（山口大学名誉教授）、宮
原文夫氏（長崎外国語大学）

評議員（新任）

新たに、以下の方々の評議員に推薦され、承
認されました。

家入葉子（京都大学）、川瀬義清氏（西南学
院大学）、中村芳久氏（金沢大学）、萩原裕子
氏（首都大学東京）、長谷川信子氏（神田外語
大学）、廣瀬幸生（筑波大学）、堀江薫氏（東
北大学）、松井智子氏（京都大学）、八木孝夫
氏（東京学芸大学）、吉田智行氏（国際基督教
大学）、吉村公宏氏（奈良教育大学）

新監事

長原幸雄氏の後任として高見健一氏（学習院大
学）をお願いすることになりました。

理事の改選

10月に理事の一部改選が行われます。なお定年のため一期目終了で理事を退任なさる長谷川欣佑理事の後任として残りの期間、福地肇氏（東北大学）が理事を務めることが前回の理事選挙の結果決定されています。

事務局長（退任）

本年3月末日をもって池内正幸氏（津田塾大学）が事務局長を退任されました。この1年間、裏方として多岐にわたり学会事務を支えてこられました。ご尽力に対し心よりお礼申し上げます。

○ 第24回大会（2006年度）の開催校

来年度の大会は、現在、都内の大学の一つと交渉中ですが、正式なお返事をいただくには、まだ時間がかかりそうです。正式に決定次第、ホームページでお知らせいたします。

編集委員会より

◇ *English Linguistics* 第22巻1号（2005年春号）の刊行について

EL22.1（春号）が刊行されました。一般論文4編、書評論文5編、特別寄稿1編が掲載されています。会員の皆様には、6月中旬に送付されております。

◇ *English Linguistics* 第22巻2号（2005年秋号）の応募論文の査読結果について

EL22.2（秋号）に対する応募論文の査読結果は、次の通りです。

	一般論文	N & D	書評論文
応募数	14	4	4
採用	4	1	4
不採用	10	3	0

◇ *English Linguistics* 第23巻1号（2006年春号）への投稿について

来年2006年6月発行の*English Linguistics*第23巻1号の原稿締め切りは、2005年10月1日（土）（必着）です。2004年2月発行の会員名簿に記載されている投稿規定および書式に関する注意事項を通読され、規定を遵守してご投稿ください。特に、論文の長さ（1頁25行、70ストローク以内で、一般論文及び書評論文40枚、N&D12枚以内）については、規程違反が甚だしい場合、内容のいかんに関わらず不採用となりますので、十分ご注意ください。

◇ 訂正とお詫び

English Linguistics 第21巻1号 p. 239 および2号 p. 575 の“The Conference Organizing Committee”の欄に掲げるべきであった安井 泉氏のお名前(Izumi YASUI, *U of Tsukuba*)が抜け落ちていました。ここに謹んで訂正いたしますとともに、心よりお詫び申し上げます。

大会運営委員会より

□ 第23回大会の個人研究発表への応募の審査結果

個人研究発表へは57篇の応募があり、審査の結果、本大会では27篇の研究発表が行われることになりました。なお、応募規定（字・語数制限）に違反する論文がありました。規定は遵守していただきますようお願いいたします。

2004 年度会計報告

2004 年度収支決算書（2005 年 4 月 1 日現在）が監事（大庭幸男氏、長原幸雄氏）による監査を経て、5 月 21 日の理事会で承認されました。

事務局より

○ 次の方々よりご寄付をいただきました（敬称略）。おかげさまで学会運営を健全なレベルに近づけることができました。誠にありがとうございました。

天野政千代	吉良文孝	長谷川存古
有元將剛	久保内瑞郎	馬場 彰
池上嘉彦	河野 武	林龍次郎
井出祥子	斎藤興雄	原田かつ子
伊藤たかね	芝原宏治	平河内健治
稲田俊明	島村礼子	福地 肇
今井邦彦	瀬田幸人	増田 豊
今井光規	高橋邦年	町田尚子
今西典子	高橋英光	松下知紀
岩倉國浩	高見健一	丸田忠雄
上 紀子	千葉修司	水野政勝
宇賀治正朋	獨協大学	光延明洋
牛江一裕	外池滋生	宮井捷二
大石 強	中島平三	宮川幸久
大島 新	中野弘三	森岡芳洋
太田 朗	長原幸雄	八木孝夫
大津由紀雄	中右 実	安井 稔
大庭幸男	中村順良	柳 さよ

岡田伸夫	竝木崇康	矢野安剛
影山太郎	西尾道子	山崎俊次
河西良治	西川盛雄	山梨正明
梶田幸栄	野沢秀実	山本和之
梶田 優	橋本健一	米山三明
河上誓作	長谷川欣佑	和田四郎

- 2005 年 4 月 30 日現在の会員総数は、1,735 名です。会費未納の方は、学会支援機構から送られました振込用紙で納入して下さいようお願いいたします。2 年間滞納されますと、会員規定第 3 条第 4 項により自動的に退会扱いとなりますので、ご注意ください。
- 学生会員の方は、継続手続きが必要です。手続きの仕方は学会ホームページをご覧ください。今年度は学生会員の継続手続きを引き続き受け付けますので、至急手続きをお願いします。
- 今年も大会会場に「親と子の部屋」という保育室を設けます。専門の保育士が待機しています。昨年はお一人のご利用がありました。利用ご希望の方はお子さんの年齢等 10 月末までに事務局にご一報下さい。なお、この部屋の使用に関する一切の責任は利用者が負うものとし、学会は一切責任を負いませんのでご了承下さい。

編集後記

本年 4 月より、事務局は大幅にメンバーを入れ替え、次のような構成となりました（一部さらに交替予定です）。

事務局長： 鈴木 猛（東京学芸大学）

編集委員会・理事会書記：

猪又千鶴子（津田塾大学（非常勤））

谷 光生（宇都宮大学）（本年 9 月まで）

野村忠央（和光大学）（本年 9 月より）

評議員会・大会運営委員会書記：

天沼 実（宇都宮大学）

財務係・新人賞書記：

佐藤響子（横浜市立大学）

昨年度の財政等の問題は、多くの皆様からのご寄付や値上げさせていただいた会費および大会費の効果が早速現れつつあり、解決に向かっていますが、会員の皆様にはご負担を強いることになり大変心苦しく思っております。千葉会長のもと事務局員一同、今後とも精一杯努める所存でございますので、どうぞ引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

現在、11 月 12 日～13 日に九州大学で開催されます第 23 回大会に向けて、大会運営委員会、開催校委員、事務局員等、全力をあげて準備を進めています。この大会が盛会となりますよう、どうかご参加戴き、ご協力下さいますようお願い申し上げます。

2005 年 7 月 31 日発行

編集・発行 日本英語学会

代表者 千葉 修司

発行所 日本英語学会

〒166-0003

東京都杉並区高円寺南 2-44-5

桐原書店内

電話 (03) 3314-8181
